

# 白川わくわくランド ニュース

発行

- 白川流域住民交流センター 利活用懇談会
- 白川流域住民交流センター (白川わくわくランド) 〒860-0854 熊本市東子飼町8-55 TEL・FAX(096)346-5454

ホームページアドレス  
http://s6.kcn-tv.ne.jp/users/wakuwaku  
メールアドレス  
wakuwaku@s6.kcn-tv.ne.jp

## 実践報告 大津南小学校

来年度から新学習指導要領が実施。そんな中、川をテーマに環境教育に取り組む学校がふえております。環境教育は、「地球規模で考え、足元から行動する(環境教育指導資料 文部省 H4)」といわれます。大津南小学校の実践報告です。

### 総合「しらかわ」で環境教育

大津南小学校では、生活科や総合的な学習の時間「総合「しらかわ」を中心に、環境教育に取り組んでいます。

#### 環境教育でめざす児童像

- ・自然を愛し、生命を大切にできる子ども
- ・身近な環境を見つめ、考える子ども
- ・環境を大切にし、行動する子ども

校区の中心を白川が流れ、豊かな田んぼが広がっています。各学年が身近な白川や井手を教材としたり、そこから広く環境問題を考えたりして学習しています。

一年生 「あそびにいこうよ」「いきものともだち」

地域 (白川など) の自然に親しむ

二年生 「ぼうけん はっけん 町たんけん」「生きものをそだてよう」

地域 (白川など) の自然に学ぶ

三年生 「白川たんけん発表会」「白川をまもろう大作戦」

校区を流れる白川の調査活動

四年生 「水・不思議? たんけん!」

白川の上流や下流にも目を向けて水の学習

五年生 「見直そうわたしたちの大切なお米」

米づくりを通して環境学習

六年生 「大津町エコアップ大作戦!」

地域を見つめ、環境問題について考える

## 水・不思議? たんけん!!

水のイメージは?

水について不思議に思うこと

- ① 水のリサイクルプロジェクト
- ② 地下水SOSプロジェクト
- ③ ミネラルウォーター研究プロジェクト
- ④ 白川の水利用プロジェクト
- ⑤ 昔の白川調べプロジェクト
- ⑥ 町の水辺づくりプロジェクト

地域の人の聞いてみよう  
本で調べよう

**見学旅行**  
白川わくわくランド  
白川水源  
「はくすい」水加工工場  
九州電力黒川第一発電所



水加工工場見学

白川水源に行きました。水は、とっても冷たかったし、きれいでした。私たちの白川も白川水源みたいになったらいいなあ。

白川わくわくランドでは、ビデオで昔の洪水のことがあったのでとても役にたちました。



4年生

### 「水・不思議」発表会



「水・不思議」発表会

大津南小学校は、川や井手の学習や環境保全活動などで、昨年度「肥後の水資源愛護賞」、**本年度「同 特別賞」**を受賞しました。

調べたことをまとめよう

調査開始!  
(チームで)  
(みんなで)

学習問題を設定  
プロジェクトチームを  
作ろう

話し  
合おう

# 暑い夏、熱く燃えたわくわくランド

今年の夏は例年になく極暑でした。その中で、白川わくわくランドでは、寺子屋など各種催し物を行いました。そのいくつかを紹介いたします。

また、自由研究で訪れる親子連れが多かった夏でもありました。「白川について初めて知ったことばかりでした。」これが、異口同音にかえってきた感想でした。

## 寺子屋合宿

五十名の子供たちがわくわくランドに集合。カヌー体験、白川の水質調査、子飼橋橋脚の落書き消しなどを体験した有意義な合宿でした。



## 夏休み自由研究 かけこみ寺

「流れのふしぎわくわく実験」と題しての大学生による空気や風の流れの実験、懇談会メンバーによる自由研究のまとめ方のアドバイス、表面張力等の実験、ポラントイアによる水鉄砲・竹とんぼの製作を実施。二日間で延べ八十名の参加者でにぎわいました。

## 白川わくわく塾

第一回  
小林 修先生

「川の環境教育と現状―素材さがし」と題して、実際に自然体験・社会体験をすることによって、感性豊かな人間を育てていくことの大切さを訴えられました。緑川の実践を報告され、自然治癒力・危険予知能力・身近な環境問題から地球環境問題へなど心に残る話でした。

第二回  
大本 照憲先生

「川を治めるとは」と題しての講座でした。「治水」は、その自然的・社会的特徴、また、歴史の変遷をおさえ、その上で生態環境の問題まで含めた治水事業を考える必要があるということでした。  
具体的には、日本の川の自然的・社会的特徴を諸外国のそれと比較しながら説明されたり、嚮塘（くつわども）を中心とした加藤清正の治水事業の話など興味深い講義でした。

第三回

講師 金子好雄先生

題名

「川の環境調査

あれこれ」

日時 十月十三日（土）

午後七時～九時

第四回

講師 国土交通省

題名

「川の環境保全と

とりくみ」

日時 十一月十日（土）

午後七時～九時

## 図書・資料紹介

「庄内川・土岐川の実践を通して  
川の学習ガイドブック」  
庄内川・土岐川の実践を通して  
低・中・高学年のモデル学習プログラムを紹介。どんな単元を設定し、どのように展開したか指導案の形で記述してあります。

語り部トーク

「昭和二十八年六・二六の  
六・二六水害当時の様子を大江小・碩台小・江南中などの小中学生が作文に残しています。その中の十数ほどを朗読に取めたビデオテープ。子供の目からみた水害のおそろしさ、人々の助け合いが綴られています。

本館の図書、資料等は  
借出し致します。  
事務室に問い合わせ下さい。

## 白川流域住民交流センター活用懇談会メンバー紹介

たつみや 章先生

(児童文学作家  
女性の会)



こんにちは、たつみや章です。仕事は子供向けの物語を書く作家です。二十年ほど前に神奈川県からきました。豊富なわき水や水底が見える川のきれいさにびっくりしました。水と緑は熊本の宝だと思っています。

金子 好雄先生

(九州東海大学工学部  
都市工学科 助教授)



川をはじめとした水環境の保全・復元・創造に関する研究をしています。自然環境の保全の一助となることを目指し、白川流域住民交流センターを川に関する情報発信・受信・交流の「場所」としていきたくと願っています。

大本 照憲先生

(熊本大学工学部  
環境システム工学科 助教授)



人間が真水を得るために頼りにしたのは川や湖であり、文明や文化を形成するための条件として川は不可欠であったのは歴史をひもとけば明らかです。この様に川と人間との付き合いは長いにも関わらず、その関係は必ずしもうまくいっているとはいえません。その主たる原因は、相手が十分に理解されていないことによります。自然の力が圧倒的に優勢の時代には人間は自然に従属した受身の技術（伝統的河川工法）を生み出し、自然の力を封じ込め征服するための努力が近代河川工法として結実し、現在、川と人間との共生可能な自然環境の復元・創造技術の開発が模索されています。川を含めた自然に対して人間がどのように関わるかが、現代人に問われています。白川の自然について一緒に考えてみませんか。